

## BladeCenter HS22

インテル® Xeon® プロセッサー 5600番台搭載。  
ワークロードに適応するスマートかつ高性能な  
次世代のインテリジェント・サーバー・  
プロセッサーです。



インテル® Xeon® プロセッ  
サー搭載サーバーを選ぶ  
ならIBM

製品の詳細はこちらで検索

BladeCenter S

検索

### お問い合わせ窓口一覧

法人のお客様向け  
IBM製品、  
製品仕様に関する  
お問い合わせ

コンシェルジュ・ダイヤル  
**0120-03-9966**

受付時間 月曜～金曜9:30-17:30(土・日・祝、12月30日-1月3日を除く)  
当窓口はお客様のご質問に対するご相談窓口です。  
ビジネス・パートナー様は、下記IBMビジネス・パートナー様向け窓口をご利用下さい。

法人のお客様向け  
障害受付窓口

IBMサービス・ライン  
**0120-34-0000**

(フリーダイヤル) ガイダンスに従って窓口を選択してください  
受付時間 24時間(お客様のご契約内容により個々の窓口の受付時間は異なります)

IBMビジネスパートナー様向け  
販売前お問い合わせ窓口  
IBMシステム製品に関する  
製品・サービス販売のご相談窓口

BPコンタクトIBM  
**0120-07-2004**

(フリーダイヤル) ガイダンスに従って窓口を選択してください  
受付時間 月曜～金曜 9:00-12:00 および 13:00-17:00(土・日・祝、6月17日、12月30日-1月3日を除く)  
ご利用にはIBM PartnerWorldへの加入(無料)が必要です。IBM製品・サービスをお取り扱いいただける  
販売会社様社員の方であれば、どなた様でもウェブサイトから登録いただけます。

[ibm.com/partnerworld/jp/](http://ibm.com/partnerworld/jp/)

2010年9月版

※記載の情報は、2010年9月現在の情報です。製品の仕様および価格等は事前の予告なく変更される場合がございます。  
●IBM、IBMロゴ、ibm.com、BladeCenter、Express Advantage、Express Advantageロゴ、System xは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。  
インテル、Core、Xeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。

IBM® Express Advantage™がご提供する製品のご案内

## これならわかる 「IBM BladeCenter® S」

インテル® Xeon® プロセッサー 5600  
番台搭載サーバーをコンパクトに収納  
できるIBM BladeCenter Sを分かり  
やすくご紹介します。



### 目次

- BladeCenter Sって、なんですか? ..... P1
- 増え続ける機器にお困りでは? BladeCenter Sなら、1台にすべて集約できます。 ..... P3
- タワー型サーバーをBladeCenter Sに置きかえて、スペースの悩みを解決できます。 ..... P4
- 管理ツールや二重化されたコンポーネントで「もしも…」の時の備えも万全です。 ..... P5
- ブレード・サーバーって、どれくらい投資効果があるの? ..... P6
- ブレード・サーバーって、何ができるの? ..... P7
- カンタン! ラクラク導入のBladeCenter S太鼓判構成 ..... P9

IBM Hand Book

IBM

# BladeCenter Sって、なんですか？

サーバー、ストレージ、  
ネットワーク・スイッチが1台に収められる  
オール・イン・ワンタイプの  
ブレード・サーバー専用シャーシ(外枠)です。



7Uサイズ

6枚のブレード・サーバーを搭載できます。



最大12台のディスク・ストレージが搭載できます\*。

SASハードディスク(最大24TB SAS接続モジュール構成時\*)、  
またはSATAハードディスク(最大12TB)、または、2種類のハード  
ディスクの組み合わせが可能。

\*SAS RAIDコントローラー構成時は、SASハードディスク 最大7.2TB 搭載可能。

100V電源だから、特別な工事は不要。

ホットスワップ対応の負荷分散型リダンダント電源ユニットを、  
最大4台まで搭載でき、電源の冗長化が可能です。

高可用性ミッドプレーン設計

サーバーと各コンポーネントの接続を二重化し、  
耐障害性を強化。また、コネクタによる直接接続のため、  
ケーブルが不要です。

モジュール・ベイ

標準でマネジメント・モジュールが導入済み。  
ネットワーク・スイッチやファイバー・チャネルの  
接続モジュールも搭載できます。

BladeCenter S用の静音、防塵「IBM 11U静音ラック」

- BladeCenter Sをご利用の際、サーバーの騒音を約1/3に、
- 通常の会話のじゃまにならないレベル(60dB)に抑えます。
- 11Uサイズなので、PDUやテープ・ドライブなどの追加機器も搭載できます。
- ラックの前後にあるドアは施錠できるので、セキュリティの面でも安心です。
- 埃などの進入を防ぐ防塵フィルター・オプションが追加できます。
- ラックにはローラーが付いているので、オフィス内の移動もスムーズです。



BladeCenter Sにお勧めのブレード・サーバーのご紹介

## エントリー・モデルなら 「IBM BladeCenter HS12」

- ▶ ブレード・サーバーのエントリー・モデルとして最適です。
- ▶ 1ソケットながらも2ソケット・サーバーに匹敵する信頼性を誇ります。
- ▶ エントリー・モデルならではの求めやすい価格でご提供いたします。
- ▶ ホットスワップSASハードディスクをサポートしています。



高性能  
スマート

インテル® Xeon® プロセッ  
サー搭載サーバーを選ぶ  
ならIBM

## 実績で選べば 「IBM BladeCenter HS22」

- ▶ 高い実績を誇るオールラウンドなブレード・サーバーです。
- ▶ 最新のインテル® Xeon® プロセッサ 5600番台搭載。  
アプリケーションの要求に応じて自動的に消費電力を調整し、  
スマートにサーバーのパフォーマンスを制御するため、  
電力効率と性能がいずれも最大限に向上します。
- ▶ BladeCenter S以外のシャーシにも搭載可能。  
シャーシのグレードアップの際にも無駄になりません。



## 増え続ける機器にお困りでは？ BladeCenter Sなら、1台にすべて集約できます。

### お客様の悩み



- ▶ 増え続ける機器の管理が複雑で、仕事が増え続けている。
- ▶ サーバー、ストレージ、ネットワーク、I/Oアダプターなど、システムのケーブル配線図やハードウェア構成の確認がめんどろ。
- ▶ 機器の移動、追加、変更に多くの費用や労力を費やしている。
- ▶ 日を追うごとに複雑になるシステムに困っている。

### BladeCenter Sが解決



- ▶ お客様のIT基盤を簡素化できるので、管理にかかる時間が短くなります。
- ▶ ケーブルによる結線を減らし、絡みあったケーブルを手探りで確認することがなくなります。誤って断線することが少なくなるので、より安定した稼働が期待できます。
- ▶ ビジネスの成長に合わせて追加ブレードを挿し込むだけ。簡単な作業でサーバーの追加を実現します。同時に、ネットワーク、I/O、ストレージへの接続も自動的に完了します。
- ▶ 初めての導入でも安心の「スタートアップ90」が付いています。わからないことがあったら、何度でも電話で問い合わせることができます。
- ▶ シャーシ内のストレージを共有して仮想化環境やクラスター構成など、柔軟なストレージ構成が可能。

※要オプション(7ページ目以降参照)

## タワー型サーバーをBladeCenter Sに置きかえて、スペースの悩みを解決できます。

### お客様の悩み



- ▶ もともとスペースの余裕はない。
- ▶ 増えたタワー型サーバーの置き場所がない。
- ▶ 会議室がサーバーで占拠されている。
- ▶ オフィスにIT機器が散らばっており、占拠している。

### BladeCenter Sが解決



- ▶ 7Uのシャーシにサーバー 6台と、2U分\*のHDDを格納できます。モニター、キーボード、マウスも6台で共用。タワー型のサーバー 6台(モニター、キーボード付き)の設置面積の約22%の省スペースです。  
(※3.5インチHDD12個に相当)
- ▶ 通常のオフィスで使われている100Vで動作するので、エネルギー効率が良く、オフィス内に設置することもできます。
- ▶ 音も静かで、さらに11U静音ラックを使えば、60dB(通常の会話程度)まで騒音を軽減できます。
- ▶ 11U静音ラックを使えば、移動も簡単。専用ルームを設けなくても、オフィスの片隅に設置することができます。もちろん施錠もできるので、セキュリティーの点でも安心です。



インテル® Xeon® プロセッサー搭載サーバーを選ぶならIBM

管理ツールや二重化されたコンポーネントで  
「もしも…」の時の備えも万全です。

### お客様の悩み



- ▶ システム管理業務、アプリケーションのメンテナンス、機器の移動、追加変更で残業や休日出勤が多い。
- ▶ ひとたび障害が発生すると、IT担当者は解析や復旧に追われて、ますます仕事が増えてしまう。
- ▶ ここところ、数年前に導入したサーバーが壊れやすくなった。
- ▶ 価格だけで決めたホワイト・ボックスのサーバーが故障。でも、保守が無いので休日返上で復旧しなくてはならない。

### BladeCenter Sが解決



- ▶ 万一の障害が発生してもシステムを止めない、二重化を基本としたハードウェア構造です。
- ▶ 障害予知機能や、障害を事前に回避できる管理ツールを装備。計画保守や予防保守が実行できます。
- ▶ 「もしも…」の時も迅速な対応をサポート。診断LED機能が、障害箇所を“光”でお知らせします。
- ▶ 3年間24時間365日、IBMのサービスマンが対応。週末や年末・年始の障害でも安心です。
- ▶ ネットワーク・スイッチの二重化により高い可用性を実現します。

## ブレード・サーバーって、 どれくらい投資効果があるの？



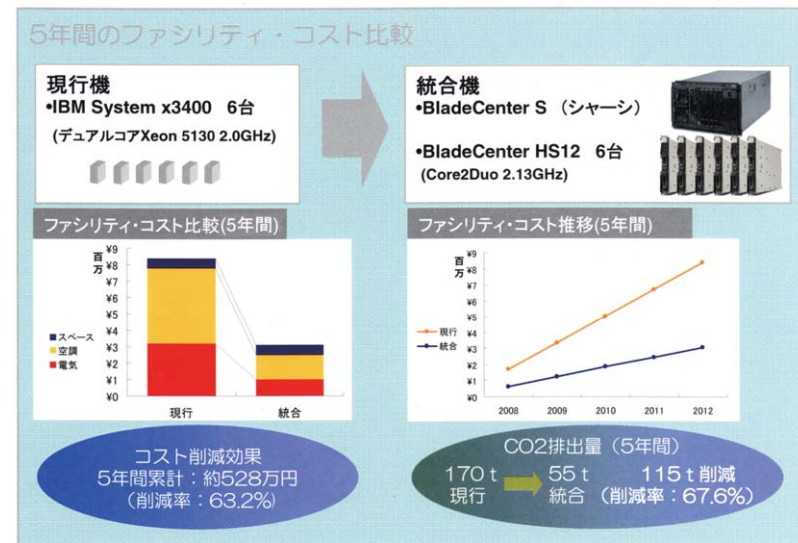
「IT投資見える化診断」は、お客様のサーバー環境を BladeCenter Sに置き換えた場合のCO<sub>2</sub>排出量やファシリティ・コストを算出し、そのメリットをわかりやすい図表でご提示するプログラム(無料)です。

- ▶ 診断のために、お客様にお聞きする項目は以下の4項目だけです。

1 今お使いのサーバー 2 サーバーの台数 3 プロセッサ名 4 プロセッサ数 (モデル名)

さらに初期投資回収期間も見える化できます！

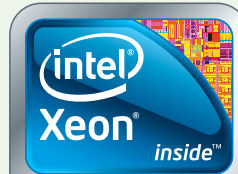
- ▶ レポートサンプル



お申し込みはこちらから

IT投資見える化診断

検索



高性能  
スマート

インテル® Xeon® プロセッサ搭載サーバーを選ぶならIBM

# ブレード・サーバーって、何ができるの？

様々なお客様のご要望に、BladeCenter Sはお応えします！

■ 現在のBladeCenter S。どこが変わっているか、ぜひご確認ください

お客様のご要望	BladeCenter Sがお応えします！
ブレードシャーシ内で、大容量共有ストレージを構成したい。	▶ BladeCenter Sの内蔵ディスクで、大容量7.2TBの共有ストレージが構成できます。もちろん、収納可能なブレード・サーバー台数は最大数のままです！
テープ装置をブレードに直結したい。	▶ SAS接続モジュール、SAS RAIDコントローラ・モジュール経由で接続できます！
停止時間もコストも最小限に！N+1構成を構築したい。	▶ BladeCenter S N+1太鼓判構成で、カンタン・ラクラク導入できます！
ビジネスを止められない！クラスター構成を構築したい。	▶ BladeCenter S クラスター太鼓判構成で、カンタン・ラクラク導入できます！
仮想化に一步踏み出そう！仮想化構成を構築したい。	▶ BladeCenter S Vmware太鼓判構成で、カンタン・ラクラク導入できます！ 小規模構成のご要望に応える、Vmware v Shere Essentials / Essentials Plusもご用意してます。
クラウドを構築したい。	▶ BladeCenter S Vmware太鼓判構成に、追加ライセンス/サブスクリプションを加えることで、社内IaaS (Infrastructure as a service) を提供する簡易プライベート・クラウド・コンピューティング環境「VMware ぶちくら 太鼓判構成」にアップグレードできます。 <a href="http://ibm.com/systems/jp/x/solution/vmtaiko/">ibm.com/systems/jp/x/solution/vmtaiko/</a>
最新のコア数の多いブレード・サーバーで構成したい。	▶ BladeCenter HS22なら、最新のインテル® Xeon® プロセッサ 5600番台搭載。6コア搭載でありながら、ワークロードに適應するスマートかつ高性能な次世代のインテリジェント・サーバー・プロセッサです。業界をリードする電力効率を備え、消費電力を自動的に制御します。

## BladeCenter Sのシャーシ内蔵ディスクの大容量共有ストレージ



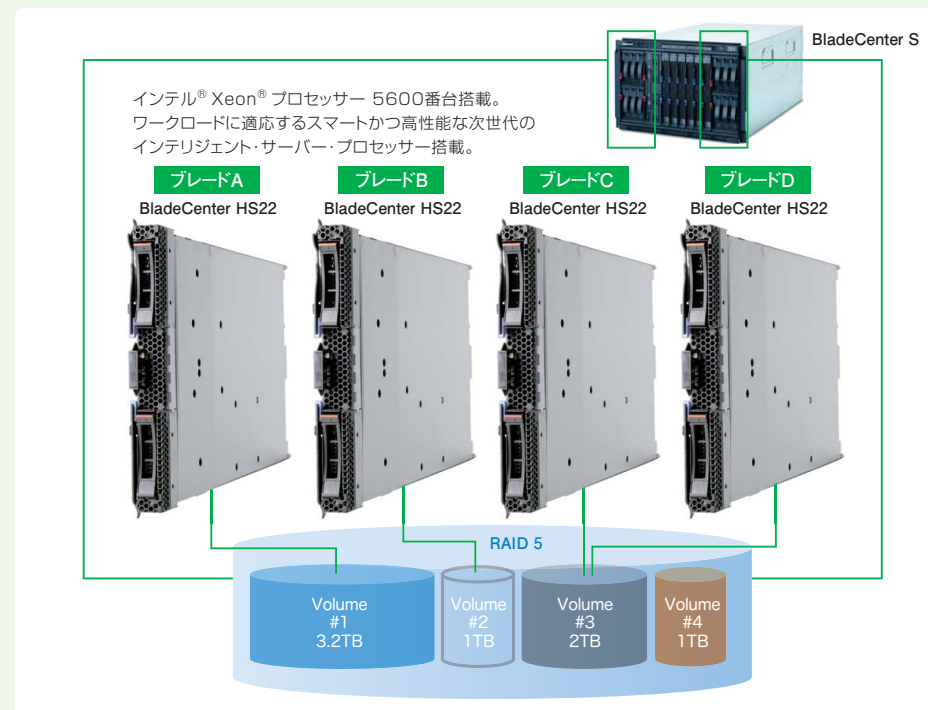
大容量データをブレードだけで管理したい！  
安心のRAID※5の共有ストレージにして、  
サーバーごとに自由にデータ容量を割り当てたい！

割り当ての例：SAS HDD 12台使用、7.2TB共有の場合  
ブレード・サーバーAは、3.2TBのVolume#1を使用  
ブレード・サーバーBは、1TBのVolume#2を使用  
ブレード・サーバーCとDは、2TBのVolume#3を共有  
Volume#4として1TBの空き容量を確保



高性能  
スマート

インテル® Xeon® プロセッサ搭載サーバーを選ぶならIBM



用語解説

※RAID：複数のハードディスクを1台のハードディスクとして管理する技術。RAID 0から5までのレベルがある。

# カンタン!ラクラク導入のBladeCenter S 太鼓判構成

IBM 太鼓判構成は **IBM動作確認済み構成**、**導入ガイド**、**新ヘルプライン・サービス(有償)によるお問い合わせ窓口**の3点セットで、カンタン、ラクラク導入できます。

『停止時間もコストも最小限に』の、ご要望に応える

## BladeCenter S N+1 太鼓判構成

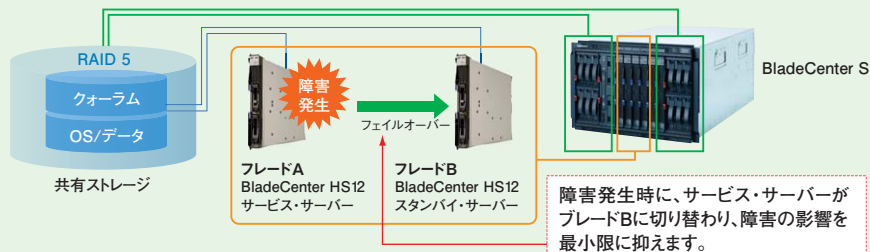
- ▶ ハードウェア障害発生時に、予備サーバーに切り替えることで、システムを短時間で回復可能。
- ▶ BladeCenter HS12によるエントリー構成、高パフォーマンスHS22による構成の2種類を用意。
- ▶ 予備サーバーは、1台でOK。コストを削減しつつ、可用性を高められます。



『ビジネスを止められない』全ての皆様へ

## IBM HA(高可用性)クラスター太鼓判構成

- ▶ 共有ディスク型 (Linux版)と、データ・レプリケーション型 (Windows版 / Linux版)の2パターンのHA構成を用意しました。
- ▶ クラスター・ソリューションは複数種類からご選択いただけます。



高性能  
スマート

インテル® Xeon® プロセッサ搭載サーバーを選ぶならIBM

詳細は

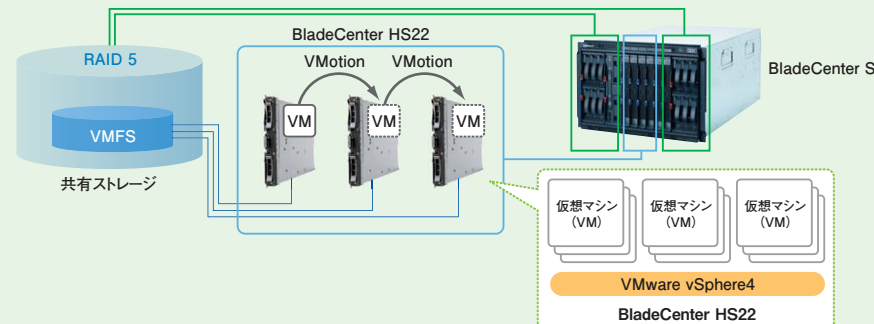
IBM TAIKOBAN

検索

『仮想化に一步踏み出そう』と、お考えの皆様へ

## VMware 仮想化 太鼓判構成

- ▶ BladeCenter Sと高性能ブレードHS22 + 仮想化ソフトVMwareによる仮想化構成。
- ▶ V-Motion (仮想サーバーのリソース割り当て) 機能などの導入手順も記載しています。
- ▶ BladeCenter S版以外に、ラック・サーバー版もあります。



さらにカンタンに手軽に仮想化をはじめてみたいお客様におすすめ!

## VMware vSphere Essentials

- あと2台のBladeを追加して仮想サーバーとしても、ソフトウェア料金追加なし (合計3台まで)
- vCenterからの集中管理が可能



詳細は

IBM Blade

検索